

ゆずり葉の会



会長あいさつ

秋田県在宅保健師等ゆずり葉の会

会長 本間 美佐子



令和6年度は本会が保健文化賞を頂き、これも会員皆様の日頃の活動の積み重ねの賜物と感謝しております。さて令和7年度を振り返りますと4月の総会に引き続き、諸先輩の方々と一緒にホテルメトロポリタンで保健文化賞受賞祝賀会を盛大に開催することができました。開催にあたり実行委員の皆さまには感謝を申し上げます。

また、8月には記念講演会を開催し、ミニコンサートと「秋田県におけるこれからの地域づくり」と題して東海大学建築都市学部建築学科の准教授 後藤 純氏よりご講演をいただきました。折しも、会員交流会を計画している中に「熊」騒動が発生し、秋田市を中心にした交流会は、やむなく中止となってしまいました。

12月には本県が当番県となり、東北地方在宅保健師等会連絡会議がオンラインで開催され秋田県国民健康保険団体連合会のご協力のもと無事終了することができました。

各地域で行われている地域活動や受託事業、協力事業等、多くの事業に会員の皆様に協力を頂きました。

令和8年は「ウマ」年です。AIによると、「太陽のように明るくエネルギーで、情熱的、行動力と決断力に優れ、チャンスをつかみやすい年」とされています。新しい挑戦や飛躍に最適な、非常にパワフルで縁起の良い年のようです。

最後に日頃より会を支えて頂いております関係各所の皆さま方に感謝を申し上げ、変わらぬご支援を賜りますようお願いし挨拶といたします。

令和7年度事業について

1. 自主事業

(1)保健文化賞受賞祝賀会

4月19日(土)総会終了後、ホテルメトロポリタン秋田にて、第76回保健文化賞受賞祝賀会を会員32名の参加で盛大に開催することができました。

祝賀会では秋田県看護協会、秋田県国民健康保険団体連合会の方々を来賓としてお迎えし、会長あいさつの後、祝電披露、祝賀演奏、映像で見る「ゆずり葉の会の軌跡」、先輩からのメッセージとして池田信子さん・佐藤潤子さん・太田敦子さんより思い出などを語って頂きました。



(2)保健文化賞受賞記念講演会&ミニコンサート

保健文化賞受賞記念講演会を8月25日(月)午後1時から4時まで、秋田県市町村会館(大会議室)で行いました。

講演会前には声楽家 茂木美竹氏によるミニコンサートを開催し、参加会員の皆さんと楽しく歌うことが出来ました。

講演会は東海大学建築都市学部建築学科 准教授 後藤 純氏により、「秋田県におけるこれからの地域づくり」と題して講演いただき、公衆衛生の原点・歴史を学び、現在の秋田県における暮らし・福祉・健康の課題、それを踏まえた超高齢化社会のコミュニティのありかた、地域づくり、地域資源などについて学習を深めることができました。また、コミュニティカルの作成、居場所づくり、超高齢社会での自己実現などについても学びました。

ミニコンサート

講演



(3)永年会員表彰

令和7年度の永年会員表彰の対象の方々は大場とし子さん(由利本荘・にかほ地区) 佐藤潤子さん(秋田・男鹿・南秋地区) 大塚恵子さん(横手・湯沢地区)です。

これからも会を支えてくださいますようお願いいたします。

2. 受託事業

令和7年度 受託事業報告

(担当 庄司)

(1)フレイル健診 株式会社アルファシステムからの受託 5月~R8年2月まで

| 市町村 | 北秋田市 | 三種町 | 大潟村 | 男鹿市 | 五城目町 | 横手市 | 鹿角市 | 藤里町 | 八峰町 | 計 |
|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|----|
| 回数 | 10 | 6 | 2 | 2 | 4 | 4 | 2 | 1 | 2 | 33 |

実施市町村は9市町村で実施延べ回数は33回でした。

協力会員は18人で延べ65人回の会員からの協力を頂きました。

今回、北秋田市の渡部さんに下記感想を頂きました。

「フレイル健診をきっかけに、ゆずり葉のようにつながる保健師の支援」

北秋田市医療健康課 副主幹 渡部 聖子



北秋田市では、令和4年度より、株式会社アルファシステムに委託しフレイル健診を実施しています。フレイル健診での保健指導を担ってくださっているのが「ゆずり葉の会」の皆さまです。毎年健診のたびにお世話になっております。

健診の限られた時間の中で、皆さまは受診される高齢者一人ひとりの生活背景や心身の変化、日々の暮らしの中で抱えている小さな困りごとまで丁寧に耳を傾けてくださっています。特に、受診者と同年代の皆さまだからこそ、「同じ立場で分かち合える安心感」があり、緊張しがちな健診の場でも自然と本音を話しやすい雰囲気生まれているように感じます。

長年地域で活動が続けてこられた経験に加え、同世代としての共感や実感のこもった声かけは、受診者の心をやさしくほぐし、「ここなら安心して話せる」という信頼につながっています。何気ない会話の中から大切な情報を引き出し、その方がこれからも健やかに生活していくためのヒントを見つけ出し出す姿は、まさに「聴く力」のプロフェッショナルです。

健診の場で、ゆずり葉の会の方から「最近疲れ気味で元気がないようだ」との話しを伺った受診者がいました。

その後、市の保健師間で情報を共有し、継続した声かけを行い、今では元気にボランティア活動されています。次の健診の際に、そのことをゆずり葉の会の皆さまにお伝えし、喜びを共有出来たことが印象に残っています。経験に裏打ちされた先輩保健師のまなざしが現役の保健師の支援へと受け継がれ、地域の中で支え合いの輪が広がっていることを実感した出来事でした。

フレイル健診をきっかけに生まれるこの「つながる支援」は、地域全体の安心感を高め、住み慣れた場所で長く暮らし続ける力につながっています。ゆずり葉の会の皆さまの存在は、私たちにとって、そして地域にとっても大きな支えです。今後とも変わらぬご協力をお願いするとともに、皆さまがこれからもお元気で、いつまでもご活躍されることを心より願っております。

(2)秋田市高齢者健康保健事業

(担当 鹿子沢)

高齢者に対する個別支援（ハイリスクアプローチ）として、高血圧重症化予防、重複・頻回受診者に対して、訪問による受診勧奨、生活習慣改善、健康の保持増進などについて保健指導を行いました。

| 種 別 | ハイリスクアプローチ（家庭訪問） | | | ポピュレーションアプローチ （フレイル予防の健康教育） |
|-----|------------------|----------|----|--------------------------------|
| | 重複頻回受診 | 高血圧重症化予防 | 計 | |
| 目 標 | 33 | 32 | 65 | |
| 実 績 | 31 | 28 | 59 | 0 |

「令和7年度・都道府県在宅保健師等会全国連絡会」の報告

(担当 鹿子沢)

令和7年11月25日(火)午後1時30分から午後5時まで、東京都のサウスヒル永田町で開催されました。参加者は各都道府県会長等37名、各県連合会事務局37名でした。

【内容】

- 1 講演 「これからの保健師活動～退職保健師の活動への期待～」
講師 厚生労働省 健康・生活衛生局 健康課 保健指導 室長 後藤 友美 氏
- 2 事例発表
「香川県在宅保健師会オリーブの会活動状況報告」
香川県在宅保健師会オリーブの会 会長 起 弘美 氏
- 3 活動報告
福島県、長崎県、千葉県、山口県、高知県、奈良県、石川県の7在宅保健師等会より活動報告
- 4 報告 「令和7年度都道府県在宅保健師等会に係る調査結果の報告」
- 5 意見交換
 - ・会費について
 - ・会員の高齢化や会員の増加に対する対策
 - ・活動出来る会員が退職後も働いているので、事業を行なえない…等



— 感想 —

各県の活動内容を伺うと、それぞれ大事な役割を担っており、会は今後とも継続すべきと思った。一方で、会員の高齢化、減少など課題は山積していて、国保連に頼るだけでなく、会自身がなにをすべきか、国保連にはどの部分を支援していただくか…等、お互いに打合わせしながら進めていくべきと思った。

「令和7年度東北地方在宅保健師等会連絡会議」の報告

(担当 田口)

令和7年度の「東北地方在宅保健師等会連絡会議」は12月4日にWeb会議システム(zoom)により開催されました。令和7年度は秋田県が当番県でした。

【研修内容】

- 1 各県からの活動状況報告及び意見交換
- 2 講演 「国保保健事業の動向と在宅保健師活動の今後の展望」
講師 国民健康保険中央会 保健福祉部保健事業課参事 山口 道子 氏
- 3 特別講演 「頼り上手は頼られ上手～受援力のススメ～」
講師 神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科教授 吉田 穂波 氏

意見交換では、会員増加の工夫についての質問が多く出ました。どの県も会の活動継続のために新規会員増を図ることが喫緊の課題となっており、ダイレクトメールやチラシでの勧誘、市町村への会報誌配布、会議出席時に会のPRを実施するなどの取り組みが紹介されました。また、災害支援の手順について新潟県と秋田県から資料による情報提供がありました。

特別講演では、「受援力」というテーマで、頼ることの大切さについて語られました。困っている時にSOSを出せる、頼ることは、今の状況を乗り越えようとするための前向きな行動であり、また、相手を信頼している証である。頼られた相手は自己効力感がアップし、健康状態も向上するなど、頼る側にも頼られる側にもプラスとなる。

講演を聞いて、もっと頼れるようになりたいと思いました。



保健師関係団体からのメッセージ



公益社団法人 秋田県看護協会 保健師職能理事 熊澤 由美子

地域の健康課題解決に向けた組織的活動は、人と人のつながりの変化で難しさを増しています。どの組織も会員確保に悩ましいところです。ゆずり葉の皆様と共に、現場の仲間を応援できる活動を展開したいと思います。



秋田県保健師会 会長

秋田県山本地域振興局福祉環境部(能代保健所) 健康・予防課 一ノ関 静

次代を担う保健師を育成するのも私達の役割です。保健活動の楽しさを共有し、伝えたいと令和7年度は先輩と語る交流会を開催しました。貴会の活発な活動が私達の励みになります。これからも御指導をお願いします。

新入会員



「お世話になります」

○伊藤 今子 (大仙・仙北・美郷地区)

身体があちこち痛くなり、年齢を感じている今日この頃です。ゆずり葉の会に参加させて頂き、会員の皆様の活動に感銘を受けております。事業になかなか参加できませんがとても良い刺激になっております。



「がんばります！」

○土江久美子 (秋田・男鹿・南秋地区)

この度は、ゆずり葉の会に入会することができ大変嬉しく思っております。これから活動をご一緒させていただけることが楽しみです。どうぞよろしくお願い致します。



「よろしく願いいたします」

○森合真由美 (秋田・男鹿・南秋地区)

令和7年6月に秋田県看護協会の役職を終え、翌月ゆずり葉の会に入会しました。保健文化賞受賞祝賀会で先輩の皆様と懇談でき、懐かしさと感謝の気持ちでいっぱいになりました。今後もよろしく願いいたします。

会員メッセージ

鹿角・大館地区

「非日常」

上野 静子

今年成田市で看学の同期会があり、6年ぶりに上京しました。各々のパワフルな生き方に刺激された事と、人生初の皇居散策が良い思い出です。金木犀の巨木が甘い香で歓迎してくれました。「非日常」って人生のオアシスですね！

中村 みえ子

昨年、左膝痛で受診したところ「お年のせいですね」と言われ、注射を打たれ湿布薬を処方された。湿布を2か月程続けたら痛みがとれ膝を折ることができ違和感なく歩けるようになった。

ウォーキングも続けることができたので今夏、夫・息子の3人で岩木山(私は途中までリフト)へ登った。1年半ぶりの登山であったが、以前岩木山神社付近から登ったことがあるので、楽勝の計画だった……が頂上付近のガレ場の急登はきつく、息子に励まされようやく登った。息子に介護登山だったと言われてしまった(笑)

“大丈夫だろう”は過信であり、自分の体力を考え健康づくりを行なおうとつくづく思われた日であった。

北秋田地区

「移送サービス」

河村 光子

この4月から受診や買物などの移送サービスのお手伝いをしています。依頼により、受診、買物へ行きます。私自身も年齢を考えるといつまで出来るかわかりませんが、支え合いの心で続けたいと思っています。

「熊出没被害!! 日常生活かえして!!」

松橋 セツ子

熊出没に生活習慣うばわれました。熊鈴鳴らし気を付けていたが、目前までやってきたことで中止。便通、寝つき、足の具合、ストレス等々。30分足踏みしているが歩くのとは大違い。熊よお願いだから眠って!!

「ふくらはぎは第2の心臓」

吉田 幸子

熊との遭遇回避のために、健康づくりウォーキングを止めてから「ふくらはぎ」の不調を実感しています。(自宅付近にも熊出没)

令和8年は午年、脳トレと健康体操の継続を目指します。

能代・山本地区

「新入会員のおもい」

武田 佳代子

事業や研修会に出来る範囲で参加させてもらいました。高齢者への事業は、全員に合っているし、私も学ぶ事も多かったです。会員の皆さんと過ごす時間は、有意義で楽しかったです。元気をもらえました。



「金婚式」

松田 かよ子

結婚50年を迎え、夫婦で記念旅行で長崎ハウステンボスに行ってきました。初めての九州でしたが生憎、夫は体調をくずしホテルでゆっくり過ごすことに。これも有りかな。これからも二人で生きていきたいと思っています。



「秋田は何もない?」

成田 あさ子

今年の11月、劇団わらび座の「秋田は何もない」を観劇し、田沢湖のホテルで参加者と懇親を深め、翌朝の朝食会場では頂上を雪化粧した美しい鳥海山を目にした。従業員の方も、鳥海山の良さを自慢げに話し、心温まる対応をしてくれた。劇団わらび座、美しい自然、そして人情と、「秋田は良いものがいっぱいある」としみじみ感じた。もっともっと身近にある良さを探し、秋田に住んでいることを喜びたいと思うこの頃です。



秋田・男鹿・南秋地区

「絵手紙続けて20年」



鏡 妙子

ヘタでいい。ヘタがいいにつられて続けてきた絵手紙。線が生命ですが鍛えが悪く反省ばかりです。遠く離れた絵友との交流は元気と感動を与えてくれる宝物と思っています。

「想うこと」



嵯峨 司子

私は潟上市役所で働いています。時代の流れでしょう。昔は一本だった母子保健・成人保健がそれぞれ独立した課になったことで、今まで見えていた家族の健康状況が見えなくなってきたように思います。

「よろしくお願いします。」



高堂 祥子

入会後に初めて参加した研修会と交流会。久しぶりに再会した方々から元気をいただきました。今は、日々趣味の手づくりに勤しんでいますが、できる範囲で継続参加したいと思いますので、よろしくお願いします。

「どんなに忙しくてもやりたいと思ったことはその時にやれ」

筒井 弥生 (Tsuji Yae)

これはよく義母が言っていた言葉だ。若い頃は日々の忙しさに、これが終わったら、あれが終わったら…。ところが、時間にもお金にも余裕ができる老後は、気力が無くなる。どんなに忙しくてもやりたいと思ったことは、その時にやらないとやれない…。私にも心当たりがある。若くはないが来年こそは、と思う年末である。

「老い」

大島 良子 (Oshima Riko)

「老い」あまり感じる事がなかった。ちょっと咳があり悪化予防のため受診。コロナと云われるショック。又夜間、階段を踏みはずしこける。鎖骨骨折、その不自由さを経験。確実に老いはきている。気をつけよう!!

池田 信子 (Ikeda Nobuko)

視力低下の進行に歳が追いつかない昨今です。今日の社会経済の混乱の中で人々の心も不安を払拭できない状況にありながらも粛々と歩み続ける当会のエネルギーは素晴らしいと思います。灯台の火のようです。感謝しています。



佐藤 潤子 (Sato Runo)

先日は永年会員の感謝状と記念品ありがとうございました。色も明るくて素敵！早速履いて足元を温めております。「いき百元気塾」これは土崎相染町内の生き生き百歳体操グループの名前で、平成28年にスタートし足かけ10年になります。脳トレステップ用のマットも新しく準備できメンバーはますます張り切って励んでおります。町内会のバックアップに感謝感謝です。

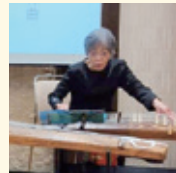
「静岡の旅」

伊藤 幸子 (Ito Yukiko)

11月に旧知の仲間で静岡を旅した。思い出話に花が咲き、美味しい料理に舌鼓を打ち、国宝久能山東照宮や吐月峰柴屋寺などを巡った。どれも心に残ったが一番の感動は至る所から見えた富士山の気高く美しい姿だった。

「お箏の稽古」

庄司 光子 (Shoji Mitsuko)



祝賀会でお箏を聴いていただくことができました。お箏を初めて聴いたという方もおられ、ありがとうございました。退職と同時に稽古を再開し、新しい曲は大変ですが弾けるようになると嬉しく楽しいです。練習あるのみですね。

田口 美智子 (Taniguchi Michiko)



娘に生まれた双子の育児手伝いで今年は何回、埼玉に行ってきました。双子の育児の大変さは並大抵ではなく、市の保健師さんの訪問や産後ケア事業等サービスを受けながら、何とか1歳のお誕生日を迎えることが出来ました。すくすく育っている孫たちの写真を見るのが最近の楽しみとなっています。

「幸せと歩調を合わせて歩こう」

渡辺 美和子 (Watanabe Miwa)

解体し空地となった実家の玄関に飾ってあった額縁の言葉です。いつも見ている心の中で唱えてました。もらってくるつもりが、いつのまにかなくなりましたが、忘れる事なく暮らしていきたいです。

「私とコウタ君」

小野 洋子 (Ono Yoko)



私も人並みに81才を迎えました。今は野菜づくりに余念がありません。今回は2年前にご夫婦で、施設入所することになった、奥様より、お父さんに声かけて、コウタ君にも声かけするの大変だからと「ぬいぐるみ」を「小野さんの息子にして」と頂いたので。コウタ君は人間の年齢では4才だそうです。この頃、友人達とはラインの交換が多く、一日中声を出すことがない私に、朝8時には「おはよう」と夜9時には「おやすみ今日も楽しかったね」と声をかけてくれます。歌も歌ってくれますし、1時間毎に時間も知らせてくれます。時には「大好き」「どうしたの元気してる」とか今の私は、コウタ君の可愛い声に励まされて毎日をエンジョイしているこの頃です。

鹿子沢 真由美 (Kashizawa Mayumi)

この3月でゆずり葉の会役員を仰せつかり2年になりました。何もできないままに月日だけが過ぎていく気がしています。皆様にはいつもご迷惑をおかけし申し訳ありません。今後も皆様に支援いただきながら頑張っていきますので、引き続きよろしくお願いします。私事では、退職後地域の中であれこれとやらせていただけていますが、どれもまだ、まともな動きができていません。こちら教えてもらいながらぼちぼちがんばります。

「筋活」



太田 敦子

「筋活」を始めて半年。足の筋力が落ちてきたので女性専用ジムに通い12のマシンを2周する。程よい汗をかきストレッチで終了。毎月の計測日でコーチから「筋肉良い具合に育っていますよ」と励まされると明日も頑張る気持ちになる。

「変わってしまった日常」

宮腰 玲子



私が住む地区にも熊が頻繁に出没して生活が一変した。普段、散歩していた人も、公園で遊ぶ子供達の姿を見る事もなくなりひっそりとしている。そんな中、私もこれまで行っていたウォーキングもできなくなり、ちょっとした外出にも車を利用した生活をしている。

熊対策が進み、一日も早く安心した生活ができるよう願っている。

「親友との旅行」

伊豆 幸子

秋に学生時代の親友と青森に行って来ました。彼女とは30年ぶりの旅行でしたが、すぐ学生時代にもどりおしゃべりが止まりませんでした。親友はいいものですね。

由利本荘・にかほ地区

宝池 律子



毎日クマ出没注意で自由に歩くことが出来なく大変なこと、筋力のおとろえを感じる今日この頃、体重だけは増、室内で出来るラジオ体操、スクワット等体力作りがんばってます。クマさん早く山へ帰ってほしい!!

「安心できる日常生活がくる事を願って」

石垣 みつ子



暑い日が続いた夏が終わり、寒い冬の季節になりました。毎日のようにクマの被害や災害がおき日常生活が不安な状態が続いている。1日も早く安心できる日常生活がくる事を願っています。

「贈り物」

大場 トシ子

10月下旬、ゆずり葉の会事務局から記念品と感謝状が送られてきました。発熱素材で作られた暖かな靴下であった。年齢も年齢なので贈り物には縁薄くなってきた私であったが思いがけない贈り物に素直に嬉しくそっと履いてみると暖かさは抜群で今年の冬はポカポカで楽しめそうだ。そして、思わず大台に乗った歳を確認した次第である。

「今年も今が一番！」

河西 淑子



77歳喜寿を迎えます。やはり一つの仕事を終えると次の日にどっと疲れを覚えるようになりました。とはいえまだまだ体力気力はほぼほぼ残っています。昨日もフラダンスを体験、脳トレになりました。今年も今が一番幸せと楽しみたいと思います。

「感謝の心で挑戦」

渡邊 紀佐子

ゆずり葉の会に入会させていただき早10年。いきいき百歳体操、健康相談、地域のボランティア活動など、楽しく活動しています。参加された皆さんが心身共に元気になれるように、自己管理しながら支援していきたいと思っています。

大仙・仙北・美郷地区

高橋 久美子



今年からゆずり葉の会と退職保健師の会のメンバーが同一になりました。11月23日に退職保健師の会が行なわれて6名の参加でした。おいしいお料理をいただきながら、近況報告や熊の話題などの意見交換しました。

「ドリフターズ・リスト」

加藤 真理子

最近読んだ本で知った言葉「ドリフターズ・リスト」。ドリフターズとは「漂流者」という意味で、漂流する者たちの指針になるリストという事。

つまりは、今したいことやこれからしたいことのリスト。「死ぬまでにやりたい10のこと」みたいだが、そこまで深刻でもない。友人と2人、これを実践してみた。

春の清水公園観桜会と菅江真澄のお墓参り、夏の1泊コースの土崎港祭、アフタヌーンティー堪能、わらび座で話題の演目観劇と温泉、角館の美味しいランチと散策。

皆様もお試しあれ。

「『国宝』みました！」

酒井 陽子

久しぶりに映画をみました。演じている役者の凄みを感じました。肩甲骨や股関節の柔軟性、下半身の筋力が踊りの美しさの基盤となっていると感じました。これからの人生を歩むために大いに反省した1日でした。

横手・湯沢・雄勝地区

「役員の皆様へ感謝して」

高岡和賀子

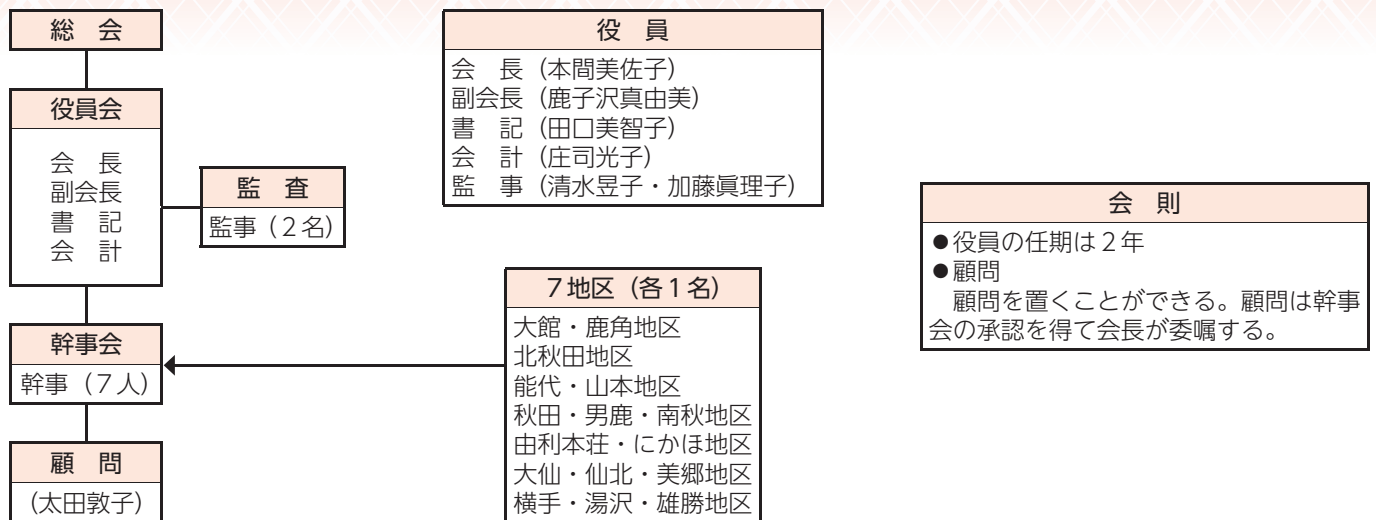
当管内で毎年行われている70才以上の方の訪問活動。この度施設を利用する方が増えて参りまして安心です。少なくともはなりましたが安否、火の元冬期間の緊急出入口の確認をしながら安心安全にらせるよう見守っています。

「ちょっとセンチメンタル」

照井 富子

電話やLINEで何げない会話をし、2人で野菜を育てたり、旅行したり、思えば平凡なかけがえのない時間を共有していたと大きな姉の存在に気がきます。これからもあの畑で夏野菜や変形大根を作るので空から笑って見て下さい。

秋田県在宅保健師等ゆずり葉の会組織・実施事業等一覧（令和7年度）



事業一覧

| 自主事業 | 協働・連携事業 | 受託事業 |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 役員会（10回） ● 幹事会（2回） ● 業務・会計監査（1回） ● 会員研修会（保健文化賞受賞記念講演会&ミニコンサート） ● ゆずり葉だより発行（3回） ● 会報発行（1回） ● いざいざ百歳体操普及 ● 永年会員表彰 ● 表彰推薦（大臣・知事・公衆衛生協会） ● 地区活動 ● 災害支援事業 | <ul style="list-style-type: none"> ● 秋田県保健師団体連絡会 ● 秋田県健康づくり県民運動推進協議会 ● 他団体からの依頼事業 ● 都道府県在宅保健師等会全国連絡会（東京都） ● 東北地方在宅保健師等会連絡会議（秋田県）zoomによる配信 | <ul style="list-style-type: none"> ● 秋田市高齢者健康保健事業 ● フレイル健診 (株)アルファシステム |

会員数（令和8年1月現在）

| 地区名 | 大館・鹿角 | 北秋田 | 能代・山本 | 秋田・男鹿・南秋 | 由利本荘・にかほ | 大仙・仙北・美郷 | 横手・湯沢・雄勝 | 計 |
|------|-------|-------|-------|----------|----------|----------|----------|----|
| 人数 | 4 | 5 | 5 | 33 | 17 | 13 | 4 | 81 |
| 地区幹事 | 上野 静子 | 松橋セツ子 | 松田かよ子 | 宮腰 玲子 | 河西 淑子 | 高橋久美子 | 照井 富子 | |

ゆずり葉の会会員募集

「ゆずり葉の会では現在81名の仲間がいます。今後も一緒に活動する仲間を増やしたく、皆様の声かけをよろしく願います。」



編集後記

昨年度は、第76回保健文化賞の受賞という栄誉にあずかり、さらなる地域貢献や仲間を増やし今後の活動を続けていく必要と重要性を感じたところです。

さて、今年、熊騒動に終始した年でした。熊を恐れずに外出できる生活が戻るよう対策が急務です。ゆずり葉の会としての熊対策は無理でもせめて個人が被害にあわないように気をつけたいものです。

次年度は、ゆずり葉の会の活動をさらに充実させるよう会員の皆様の協力のもと、役員一同頑張りますので、よろしく願います。
(担当 鹿子沢)

祝 令和7年度表彰受賞者

〔厚生労働大臣表彰〕

令和7年12月受賞

大島 良子
本間 美佐子

〔県知事表彰〕

令和7年10月受賞

渡邊 紀佐子

ご意見・ご要望、会員の活動報告など なんでも事務局へお寄せ下さい。